

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2020・9月号

石川県学校生活協創立71年目（信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献）

結・秋の全員利用運動」の商品決定！

—感染防止・経済拡大・災害応援—

石川県学校生活協同組合理事長 細野祐治

秋の全員利用運動の今回のテーマは「結」です。

さて、新型コロナウイルスの感染流行は、第2の波に入っているようで、ここ石川県内でも至る所で感染が続いています。幸いにも石川県学校生活協関係者にはまだ入って来ていませんが、これも時間の問題のような気がしてなりません。最善の努力をしていますが、こればかりはどうにもならないようです。24日の職員全体会議で感染した場合のマニュアルを徹底しました。今は、感染しても安心して療養できる体制が重要だと考えています。

そのような中での秋の全員利用運動です。組合員の皆さんに対しては、外出できなくても良い商品、生産者の皆さんに対しては、売上げが低下している良品、7月初旬の災害地域への皆さんには応援として、この全員利用運動の売上げの一部を義援金として送ります。

この3つのねらいを一言で表したのが「結」です。私たちの全員利用運動が、多くの人たちとのつながりにすすめたいと思います。

一品は自分の為に、もう一品はつながりのある方にプレゼントにしてください。

取り組み開始は、9月28日からです。ご購入をよろしくお願いいたします。

7月末経常剰余金決算 計画よりは382万円の改善！しかし406万円の赤字。

石川県学校生活協の2020年度7月決算は、経常剰余金406万円の赤字です。その状況を詳しく見てもみますと、単月で順調な事業剰余は、カタログ102%、共同購入123%、フレッシュ共同購入114%、指定店一般130%、指定店代行118%の5事業です。厳しい事業は車検83%、ガソリン70%です。ガソリンは低価格が続いていることが要因です。私たち職員が担っている自主供給累計では、目標比104%で好調ですが、指定店は82%で厳しい状況です。総合計の目標比で94%、目標額より1,319万円悪化しています。しかし、剰余は目標額より172万円増益です。

この調子で8月も職員一同頑張りますので、よろしくお願いいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

モーツァルト『魔笛』

北本 豊春

編集後記

コロナ・台風・地震・火事

怖いもの、昔は「地震・雷・火事・親父」でした。今の怖いものと考えてみて並べたものが、「コロナ・台風・地震・台風・火事」です。皆さんなら何をどんな順番に並べますか？今の一番は何と言っても、新型コロナウイルスでしょう。目に見えないので大変怖いのです。次は台風でしょう。今年は発生件数が少ないようですが、今から増えてきそうです。このごろの台風は、被害が尋常でないで困ったものです。そして地震です。ある日突然グラリと来るので怖いです。でも、いつかは確実に来るので、やはり怖いものです。最後は火事でしょう。火事は人災と言えますが、前3つは自然が相手です。自然の前に人間はいかに無力であるかが分かります。何事も無事を祈ります。（道祐）

モーツァルトは、短い生涯の中で、優れたオペラを創作しています。『魔笛』はそれらの作品群の中でも、最も劇的で想像力を呼び起こす優れた作品です。舞台劇の最初から、巨大な蛇が現れて、主人公のタミーノに襲い掛かると言う衝撃的な幕開けです。タミーノを助けるのが闇の世界を支配する夜の女王の侍女たち。侍女たちが去ると、鳥刺しのパバゲーノが現れて、助けたのは自分だと嘘をつきます。戻ってきた侍女たちは、罰としてパバゲーノの口に錠をおろしてしまうと言う、思いがけない展開です。夜の女王から大悪人だと吹き込まれたザラストロが実は神を敬い奉る神官で、夜の女王の方が世界支配を企む魔王だったと言う大逆転。筋書きは思いがけない展開を孕んで、観衆の心を捉え決して飽きさせません。タミーノと夜の女王の娘パミーナはザラストロの試練に耐えて結ばれます。忍耐とは無縁のパバゲーノは、ちゃっかり、パバゲーノと言う恋人をものにします。音楽と共に劇そのものが魅力的で心を奪われます。

今回の企画内容については拙著『クラシック音楽の世界』の中で、詳細に書いています。十冊だけ残っています。

購入いただける方は以下の要領で。

価格 二千元 総ページ数 二百六ページ

『加賀市大聖寺錦城ヶ丘二六一一五

北本豊春』までご連絡ください。